

文科乙類 (三十三名)

法	安達卯平	栃木	×淺川	武東京	法	家富尙邦	群馬
經	石山信之介	茨城	今村勇二郎	三重	經	浦久保博文	和歌山
文	小此木眞三郎	栃木	大島利一	茨城	法	蒲生新之丞	茨城
法	神山信三	東京	×鯉淵一郎	茨城	文	佐々木勝衛	宮城
法	佐藤碩苗	山梨	西園寺不二男	東京	文	齋藤平四郎	埼玉
法	阪田良樹	神奈川	須藤節	神奈川	文	清宮進	千葉
法	前佛清	北海道	田中彰	千葉	文	高辻博	石川
法	○高木專之助	愛媛	武村次郎	東京	經	千々和	茂福岡
法	○千葉宗一	宮城	飛田義男	茨城	法	小(舊姓中野)谷喜一	福島
法	西塚義高	三重	根澤二郎	千葉	文	島秀四郎	岩手
經	久留義恭	東京	藤井不二男	千葉	經	松井英一	東京
理科甲類 (二十八名)							
工	栗野誠一	茨城	伊藤利夫	千葉	工	飯村丈夫	茨城
工	市來康雄	東京	稻田浩三	茨城	工	上原要三郎	長野

理科乙類 (四十名)

農	江幡正道	茨城	工	小柳東一郎	千葉	工	岡村健二	佐賀
工	久保田威夫	千葉	工	熊澤忠廣	東京	工	小島一郎	滋賀
京理	古宮忠一	千葉	理	佐藤正巳	山形	工	佐伯一夫	茨城
工	瀬尾一久	茨城	工	關義茂	長野	農	高荷昭重	埼玉
工	高橋菊夫	長野	工	武一	福島	工	田中聖賢	千葉
醫	土屋博	神奈川	工	橋(舊姓宮城)寺六郎	兵庫	醫	塙要	茨城
工	松下英夫	秋田	工	萩原清武	茨城	工	山科義彦	東京
工	鏡田四郎	静岡	岡					
醫	秋山仁爾	栃木	醫	伊能茂次	千葉	醫	稻葉越三	兵庫
醫	小尾雅夫	東京	醫	大串茂	茨城	農	大野能	静岡
工	加藤慶男	東京	農	神立誠	茨城	醫	菊池武美	宮崎
文	栗原百壽	茨城	醫	小嶋胸夫	東京	醫	權守英夫	山梨
農	佐々木郁雄	愛媛	醫	齋藤恒	栃木	醫	關根信義	埼玉
農	鈴木次郎	東京	醫	田崎敏郎	茨城	醫	高杉宏一	岡山
農	武田強二	岐阜	藥	谷末八郎	宮崎	醫	塚本初	静岡

醫	友常武雄	茨城	醫	中山末男	栃木	醫	大塚仁平	任茨城
醫	×西富士太郎	山口	醫	(舊姓根本) 御園生雄三	茨城	醫	(舊姓長谷川) 高久英夫	福島
醫	石山俊次	茨城	醫	蓬萊信勇	静岡	醫	三井善之助	神奈川
醫	三輪舜福	島	醫	水野春江	東京	醫	森金彌	千葉
醫	矢崎野郎	神奈川	理	山崎芳夫	茨城	醫	横須賀直三	茨城
醫	横山達雄	岡山	農	吉川治	東京	工	李浴風	中國華
法	渡邊衛	茨城						

昭和七年三月卒業 (第十回)

文科甲類 (七十七名)

法、東文	(舊姓足立) 佐々木	茂長野	法	相川尙武	東京	法	秋場力三	千葉
經	淺海令三	東京	法	伊丹良	東京	法	伊藤七郎	東京
法	伊藤昌夫	宮城	法	飯田朝	栃木	經	岩動邦雄	岩手
京法	石川市太郎	栃木	經	石原達郎	廣島	經	井上清藏	東京
法	岩田文三	茨城	經	宇田昂	高知	法	牛久甚吾	栃木
經	○小田大典	東京	經	小俣信雄	山梨		○小山田貞雄	茨城
經	太田公平	長野	經	大島忠男	栃木	經	大竹文雄	北海道

法	大村進	東京	經	落合勇一	島根	經	笠井俊雄	山梨
文	釜川喜三郎	富山	經	川上義男	神奈川	經	川成修一	東京
法	倉井藤吉	栃木	文	黒羽茂	茨城	經	軍司直次郎	茨城
文	小泉一郎	茨城	經	佐藤鐵也	山梨	經	酒井俊二	茨城
文	澤田總門	千葉	經	清水英三郎	東京	經	白川義正	愛媛
文	菅谷光之	群馬	文	×鈴木節男	東京	文	(舊姓田中) 鈴木直	福島
文	芹澤勇	神奈川	文	田中清六	東京	法	酒井俊雄	栃木
東北法文	田村友義	香川	經	×大田二郎	和歌山	經	高岡文夫	福島
經	高木道彦	東京	經	竹村武	静岡	經	×武田進	茨城
經	譚崇夏	中國華	法	千葉崇	岩手	法	陳野典	福島
經	塚越文夫	群馬	法	坪上章	東京	法	中島言人	栃木
文	長濱道夫	愛知	文	○橋戸靜雄	茨城	法	根木三郎	山口
經	×林誠一	茨城	文	林正治	新潟	法	原知行	栃木
經	原田悖	廣島	法	×水野藤二	東京	文	×菱沼弘之	茨城
法	舟生一郎	茨城	經	宮森清	神奈川	文	皆川郁夫	茨城
文	宮原誠一	東京	經	山下禎三	宮城	經	安田正介	東京
法	山形朗	茨城	經	山下禎三	宮城	經	横田地席一郎	東京





文科乙類 (三十六名)

東法	會澤三喜夫	茨城	法	新江	彰	栃木	法	有馬公男	福島
法	安齋宅松	神奈川	文	磯貝政人	長野	法	東	白井定胤	東京
文	大久保元	栃木	法	大津	流	茨城	文	萩原正治	東京
京文	加畑一夫	茨城	經	小林邦三郎	茨城	經	文	小松崎明	茨城
法	佐藤義英	福島	經	酒井龜三	三重	法	東	澤	起
商	柴田安次	栃木	文	杉山慈郎	青森	文	北	鈴木三郎	東京
文	高瀬秋藏	茨城	文	瀧本邦彦	茨城	法	武	鈴木三郎	東京
經	月村市郎	東京	法	中村佐長	野	經	西	川州男	廣島
商	丸谷秀一	北海道	經	古谷誠一	京都	經	松	尾秀俊	群馬
法	湯本清平	栃木	經	三村峯雄	群馬	法	三	輪武雄	静岡
經	弘太郎	茨城	經	本山近思	高知	法	山	崎	嚴
工	豊福島	農	荒	川五郎	福島	法	横	山恭一	栃木
理	豊福島	農	荒	木四郎	秋田	理	伊	地山昇	千葉

理科甲類

(三十六名)

理科乙類 (四十名)

東工	石山秀夫	茨城	理	岩崎友吉	神奈川	工	小串庸夫	神奈川
工	小野口新次	栃木	醫	太田代亨	岩手	工	大根川良男	栃木
醫	笹島耕夫	福島	工	川島寬	埼玉	工	木村貫三	東京
工	小林一雄	東京	東	坂上新一	東京	工	鳥田宏	茨城
藥	鈴木友二	東京	醫	關根秀雄	茨城	農	田島茂	和歌山
農	田村研次	東京	醫	戸塚清	東京	醫	中山正秀	山梨
農	成川啓五	秋田	工	野口政光	東京	醫	野並朝夫	高知
理	春城清之助	京都	飯	樋口文雄	山梨	農	日根野三郎	東京
醫	神方正巳	熊本	工	網井茂	埼玉	農	三輪武雄	茨城
工	元藤馨三	東京	工	山口重良	茨城	理	山本三郎	茨城
東北理	柳橋太郎	東京	醫	吉田正之	熊本	農	渡邊登	静岡
藥	天羽壽雄	東京	醫	栗田口省吾	栃木	工	荒井昌	茨城
醫	安藤職尾夫	茨城	醫	齋藤恒友	栃木	醫	池田忠義	栃木
醫	×岩崎宗之	鹿兒島	醫	織田澤孝二	群馬	醫	尾本芳次	千葉
醫	太田元政	東京	醫	太田早苗	長野	藥	大津明善	茨城



經	馬詰紀彦	東京	經	益子太郎	茨城	經	松原庸雄	福井
法	三輪照雄	茨城	經	森川信雄	東京	經	森川滋	群馬
法	柳生健英	茨城	經	山本敬三郎	静岡	文	横山邦雄	神奈川

文科乙類 (三十三名)

法	石倉武	北海道	文	石渡毅	千葉	法	稻垣精一	東京
文	岩坪美實	京都	經	大瀧誠三	東京	京法	岡崎春雄	鳥取
法	岡村忠正	東京	經	加瀬勉	千葉	經	加藤鶴一郎	宮城
經	河原井市郎	茨城	法	神崎量平	神奈川	商	草光希一	鳥根
法	小島實千葉	茨城	文	小林榮治	棒太	東文	小林正典	東京
法	高筒鑑	茨城	法	酒井勝治	茨城	法	坂間裕	神奈川
法	佐島正道	秋田	經	榎澤弘雄	茨城	法	島田啓助	栃木
法	清宮宗賢	茨城	法	高橋八藏	山形	文	瀧口洋	茨城
文	瀧田勝英	茨城	法	武本俊郎	岡山	經	津田弘文	岡山
法	野村正一	茨城	法	×羽田武司	茨城	法	宮川英男	岐阜
法	山本政雄	東京	法	吉村謙三	東京	文	和田正雄	長野

理科甲類 (三十四名)

工	飯野金男	東京	工	×飯村正夫	茨城	工	池田正雄	茨城
工	板坂清	東京	東醫	入江英博	鳥取	工	小笠原光信	東京
東醫	大西幸雄	千葉	工	大山一信	神奈川	工	川井良夫	茨城
京工	小林秀雄	茨城	工	小林慶男	東京	農	小松崎延	茨城
京工	齋藤良宣	東京	理	阪田隆	神奈川	工	重田力雄	東京
工	白石蘭次	栃木	工	白鳥昌	東京	農	杉田文雄	茨城
農	高木恒三	東京	工	竹内綱	孫茨城	阪醫	豊田三郎	新潟
農	長岡克吉	廣島	京工	中川篤	茨城	東北醫	西山安雄	山梨
工	橋本忠正	滋賀	京工	深澤正彦	東京	工	福永周三	京都
農	間野義克	岡山	工	松島實	東京	工	望月健二郎	山梨
工	山口博	茨城	工	山根外美	滋賀	醫	山本十士二	東京
醫	弓削虎雄	福岡						

理科乙類 (三十二名)

醫	今井太郎	群馬	農	今泉英一	東京	名醫	今川冠	茨城
---	------	----	---	------	----	----	-----	----

法	法	東經	經	經	農	醫	醫	醫	醫	醫	醫	新醫	醫
岩崎	磯武	淺井	安居	渡邊	矢口	馬目	宗像	西野	中村	白幡	後藤	川並	上野
長衛	光芙	允彦	院嘉	憲二	靜夫	一福	市之助	正雄	脩千	靜夫	茂東	輝茨	野智
栃木	城	東京	彦兵庫	馬	茨城	島	福島	茨城	葉	千葉	東京	茨城	明茨
東法	文	東經	法	醫	醫	醫	醫	醫	名醫	醫	醫	東醫	慶醫
宇津木	板垣	五十嵐	青柳	渡邊	山中	武藤	眞野	根本	中山	高安	室橋	梁谷	小澤
多男吉	正明	喜之助	弘平	汪福	茂茨	夫福	一東京	正宇司	茂茨	周雄	橋豐	谷四郎	五一郎
千葉	群馬	山形	茨城	岡	茨城	島	東京	茨城	茨城	栃木	東京	茨城	福島
法	經	東經	經	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	京醫	京醫
牛久	岩織	石渡	秋澤	龍崎	森田	松村	埜村	新堀	戶澤	坂間	弘神	黒澤	唐木
菊次郎	俊郎	卓三	禮二	義尚	丈夫	文男	文男	正二	澤孝	間弘	奈川	巖茨	正一
栃木	青森	神奈川	栃木	千葉	群馬	茨城	茨城	埼玉	神奈川	茨城	茨城	茨城	長野

昭和十年三月卒業 (第十三回) 文科甲類 (七十四名)

東法	經	東法	京文	經	法東	經	法商	經	文	文	文	文	商	京經
布施	平松	原田	德江	高木	鈴木	庄田	齋藤	五味	小池	工藤	龜山	葛西	○奧村	大竹
重雄	三雄	萬也	貞雄	木讓	正八郎	進一	重次郎	篤義	正弘	正男	高一	正彦	禮三	武三
茨城	群馬	長野	群馬	東京	東京	東京	埼玉	山梨	東京	東京	栃木	青森	青森	福島
經	法	法東	文	法	法	法	法	經	文	法	文	經	東文	法
藤田	平輪	菱木	中山	土屋	關口	鈴木	坂野	上郎	小關	久保	川口	金井	加藤	大森
得利	憲治	甲子	茂茨	英夫	元茨	勝男	榮太郎	幸二	宏也	誠太郎	健夫	一郎	正明	四郎
神奈川	茨城	千葉	茨城	東京	茨城	茨城	石川	神奈川	宮城	茨城	茨城	東京	茨城	茨城
文	法	法	法	法	法	法	法	法	商	法東	經	經	京法	法
古屋	廣瀬	平田	橋谷	寺門	川口	鈴木	志賀	齋藤	小西	畔柳	川崎	神谷	加藤	江幡
保長	芳雄	正實	亮助	精太郎	銀治	木銀	清二	常勝	西康	柳田	庸夫	谷登	藤木	正文
山梨	茨城	鳥取	茨城	茨城	茨城	茨城	千葉	栃木	東京	山形	茨城	東京	茨城	茨城



文	東法	法	法	法	經	經	法	經	文	文	法	東經	東經	經
安田松雄	御法明義	野口完司	瀧上光重	篠原廣雄	小林靜一	大森茂彦	菅野治雄	種田孝一	有川美龜男	横田地佛次郎	山城次郎	水上浩	保倉芳	
島福	熊本	東京	埼玉	茨城	山梨	茨城	福島	東京	栃木	東京	岩手	福島	新潟	
法	法	文	東法	法	東法	法	法	法	東法	法	商	文	文	
米丸忠之	皆川一郎	平田幸之助	陣野博明	田村清作	古村幸一郎	栗谷啓三	川上進	岡田文雄	鏡傳吉	渡部和夫	山本正喜	×村岡良樹	升本喜夫	
石川	秋田	秋田	茨城	茨城	長野	秋田	茨城	茨城	東京	福島	東京	東京	東京	
文	○宮田	×松本	東法	文	法	法	法	法	東法	文	文	東文	經	
渡邊	耕	利	富島	高林	後藤	黒川	川田	神田	石井	余朗	本山紀三郎	三宅弘之	廣島	
秋田	茨城	東京	島	靜岡	徳島	東京	形	道	川	屏	北海道	廣島		

文科乙類 (三十名)

工	東農	京工	京工	名醫	工東大	名醫	工	工	東北工	東醫	工東大	農	醫
和知正忠	柳澤誠	持館英康	逸見正則	濱田賞高	中川敏太郎	田村明雄	鈴木正司	齊藤禎一郎	小林四郎	大森勝	覆本力哉	石川安太郎	赤岡英彦
茨城	東京	島	玉	知	東京	玉	葉	葉	馬	木	葉	山形	山梨
農	醫	工	農	農	工東大	工東大	工東大	工東大	工東大	工東大	工東大	農	工
渡邊敏夫	横堀榮	師岡善七郎	前田道雄	原田竹治	根本三也	關山正憲	關山正憲	崎尾博	左合正雄	川島敬之助	小田精	板橋弘	赤羽政亮
山形	木	茨城	島	新潟	茨城	茨城	茨城	木	東京	東京	東京	茨城	野
東工	工東大	工東大	工東大	商大	醫大	工東大	工東大	工東大	工東大	工東大	工東大	理東北	東農
吉田道一	矢野徹	三好徹	廣野正	橋爪信常	谷口豊吉	田邊正一	田邊正一	猿谷鐵四郎	佐藤長兵衛	木内俊二	大平五郎	市原巳之助	井上十和
千葉	野	野	山	東京	東京	茨城	茨城	茨城	宮城	野	島	千葉	秋田

理科甲類 (四十一名)

理科乙類 (四十名)

醫	安達元郎	千葉	藥	石川信雄	茨城	農	石川博	高知
名醫	今成順一	埼玉	農	海老澤道進	茨城	農	小原美夫	茨城
工	尾崎威新	新潟	醫	大久保重次郎	茨城	農	大槻文夫	茨城
農	大友桂介	茨城	農	岡本獎	東京	醫	加藤武雄	栃木
東農	門田正也	東京	千醫	金子明	茨城	東北醫	河島文夫	栃木
醫	木村浩三郎	東京	千醫	小守重德	千葉	千醫	後藤繁	茨城
東醫	三邊武右衛門	福島	東醫	鈴木武夫	埼玉	千醫	田中洋	長野
東醫	高木常光	靜岡	醫	谷口恒郎	茨城	醫	寺崎平	東京
東醫	中川増郎	福島	東理	中村進	茨城	東醫	中山進	長野
東農	南部孝三	三重	東農	堀貢	茨城	工	福井平之丞	青森
農	藤ノ木耕三	新潟	醫	細野陣三郎	群馬	工	益子威教	茨城
醫	三村英雄	長野	醫	溝部通	大分	阪醫	宮崎久男	鳥取
東北醫	宮本信三	茨城	東北醫	守谷學	北海道	農	山本信正	茨城
工	渡邊久	東京						

昭和十一年三月卒業 (第十四回)

文科甲類 (七十名)

文	阿部義昌	山形	東北文	相田昇	東京	東經	朝倉景一	茨城
東文	雨宮義人	埼玉	東法	荒木立雄	群馬	東法	井出功	東京
法	伊藤正樹	福島	東文	石井正	東京	法	石川博	茨城
京法	岩上二郎	茨城	東法	薄井英雄	福島	東經	小川義人	茨城
東經	大槻武夫	茨城	法	大場岩夫	茨城	東法	大園謙藏	茨城
文	大輪宣方	福岡	東經	岡野安宏	神奈川	東法	加藤博康	埼玉
經	金澤一男	千葉	法	金澤二郎	茨城	法	木内述作	千葉
京法	岸武明	茨城	法	桑川泰幸	栃木	東法	栗原明彦	神奈川
神	郡司充親	茨城	東經	粉川清	茨城	經	高齋賢一	群馬
商	佐久間紀彦	茨城	東經	佐々木利雄	長野	法	清水正夫	茨城
東文	篠田達巳	神奈川	東文	柴生田珪二	埼玉	經	須田茂司	群馬
經	須藤弘司	栃木	東文	鈴木正俊	神奈川	東法	相馬謙太郎	栃木
京法	田藤良輔	栃木	東經	田山孝二	茨城	法	高瀬重男	福島

京文	高橋良夫	神奈川	東法	竹澤幸市	栃木	東法	坪井磯雄	福島
文	名越時正	茨城	東法	中野徳郎	福島	東經	中村一郎	福岡
經	中村重彦	東京	經	西脇淳	東京	東經	長谷川正二	東京
經	×長谷川辰夫	千葉	法	波多野誠恒	東京	東法	萩谷不二雄	茨城
文	蓮沼治郎	群馬	京法	塙榮一	茨城	經	塙毅比古	茨城
文	林大英	新潟	經	平井順二郎	東京	東法	平田英夫	長野
法	藤田力	栃木	東經	藤本富士雄	茨城	京法	星野孝	東京
東法	前田義里	兵庫	經	橋本健次郎	東京	法	松本豊吉	埼玉
東法	宮代佑	神奈川	文	宮本宏	鳥取	京經	森澤隆	秋田
東文	山田明	茨城	法	山田正治	神奈川	東法	吉澤潤三	栃木
經	吉原尙夫	茨城						
商	飯塚富彌	茨城	東法	今井大	長野	文	海野春樹	静岡
東法	江口是	茨城		×小野武	福島	法	小野倫義	東京
法	大友將之亮	茨城	東法	大和田郡治	茨城	東法	生沼永言	茨城
京法	上村三郎	福島	東法	倉井潔	栃木	文	小林卓郎	東京

文科乙類 (三十四名)

京法	小林次夫	山梨	東法	後藤正彦	宮城	文	齋藤英一	茨城
東法	鳥田秀夫	岡山	東法	鳥村正雄	茨城	東法	高田雄治	東京
法	高嶺秀一	東京	法	中谷直久	徳島	法	中村眞古	静岡
法	永野重一	神奈川	法	長岡俊彦	茨城	法	×長瀬順平	福島
東法	根本正	福島	法	野上哲雄	茨城	法	長谷川順造	福島
東經	前田芳郎	東京	東經	増田友彌	茨城	法	松本文男	大阪
京法	門傳正	福島	東法	山田勳	岩手	東法	渡邊恩吾	茨城
東法	綿引重男	茨城						

理科甲類 (三十三名)

東工	江部圓次郎	栃木	東工	小倉七郎	東京	農	小菊英	茨城
東工	大久保克	茨城	東工	×大住正二	東京	工	大津忠治	茨城
東農	×岡田新市	栃木	理	掛川一夫	長野	工	金井要治	群馬
東農	金子正志	群馬	工	川上陽平	茨城	東工	河島文基	鳥根
阪工	木村茂	茨城	工	岸健一	山形	工	近藤武	茨城
工	今野壽郎	宮城	東工	佐々木登	東京	東工	島田藏之助	茨城
工	須田純吉	東京	東工	富田貫一	茨城	工	橋本九平	栃木

工大京	初見辰二	茨城	東工	平戸	豊茨城	農	福山二郎	鹿兒島
東北醫	前原次夫	栃木	東工	武藤昌太郎	茨城	東工	村松	力東京
京工	森田信光	茨城	東工	森村和巳	群馬	阪醫	柳澤育夫	長野
東北工	山縣隆治	茨城	工大京	横山吉郎	茨城	名醫	渡邊	進群馬
理科乙類 (三十二名)								
工	阿久津三郎	兵衛	栃木	千醫	石原	尙山形	千醫	岩立健齋
東醫	小田	孟	茨城	千醫	小貫孝久	栃木	藥	小貫道正
藥	太田武八郎	長野	東醫	岡	直德	群馬	東北醫	忍田隆相
農	金子俊夫	長野	長醫	神谷破魔	雄	静岡	東醫	小林郷次郎
東醫	河野庸弼	千葉	慶醫	坂口光洋	東京	東醫	島田	豊
阪醫	須田正巳	山梨	九醫	高倉	鎮	雄	茨城	京醫
新醫	瀧澤貞夫	栃木	東醫	辻	達彦	茨城	名醫	寺田準一郎
名醫	藤内茂夫	三重	東北醫	轟	淳	長野	東北醫	中村榮一
千醫	長濱善夫	神奈川	東醫	坂名城	政	順	東北醫	林左武郎
東醫	林正徳	茨城	東醫	樋口光男	群馬	馬	東北醫	深川
千醫	宮山佳久	千葉	名醫	吉野	正	千葉		淳

昭和十二年三月卒業 (第十五回)

文科甲類 (五十六名)

東文	相川東助	大分	京經	井上卯一郎	群馬	京法	井上剛	高知
東法	伊藤重雄	栃木	東經	内川忠壽	茨城	京法	浦田勝彌	三重
東法	海老原角次郎	茨城	東法	海老原精治	茨城	東法	蛭澤康夫	茨城
東經	小川正治	千葉	東法	大口駿一	東京	東經	大久保忠大	東京
東法	大谷忠司	栃木	東法	大東康一	東京	東法	萩野輝三	岡山
東法	奥野啓夫	群馬	東經	落合友義	茨城	京法	音	鎮
京法	梶	茂	神奈川	勝村主一郎	茨城	東文	木内信敬	千葉
東文	木名瀬	智	茨城	黒岩康二	群馬	東經	左藤和彦	神奈川
京法	佐々木	久	岩手	佐藤誠一	福島	京經	坂本	亨
東經	庄司龍一郎	神奈川	東法	松島	増	樹	東京	京
東文	杉邊利英	群馬	京經	關根好道	東京	東文	須田政明	茨城
東經	田中茂男	埼玉	東文	田中庸夫	北海道	東經	外岡恒文	静岡
東法	高野正祐	茨城	東文	高橋	明	島根	田畑	肇
京法	永井政夫	栃木	東經	永戸貞夫	徳島	東經	辻	佑
							新山	芳
								京
								都

東文北	登坂仁二	山形	東經	畑	保德	東京	京經	二村龍男	福島
東經	丸正巳	東京	東經	三樹	敬	東京	京經	宮下政男	長野
京經	矢口廣行	茨城	東法	谷中	忠	茨城	東法	安井吉典	北海道
東法	山下誠一	山口	東法	和智甲	正	山梨	京經	若命銳一	神奈川
東經	渡部謙	東京	東經	藥科	健	山形			
文科乙類 (二十八名)									
東法	東	正岩手	京農	石渡	忠	千葉	東法	板垣守義	東京
東文	今井義忠	千葉	東經	江澤慶二	高	知	東法	小田泰造	茨城
東法	大内芳郎	栃木	商神大	大久保泰男	茨	城	京法	大野增造	茨城
東法	岡崎茂	栃木	東法	岸本太郎	東京	京經	京經	小山喜三	東京
東法	佐藤治郎	岩手	東法	鈴木雄之	東京	東法	東法	田口正巳	茨城
東法	竹内剛	東京	東經	土屋貞雄	神奈川	東法	東法	豐水孝二	廣島
東文	中島龍太郎	京都	商神大	野田誠	廣島	東法	東法	林正行	茨城
東法	堀内勇三	東京	京經	堀江定	茨城	東法	東法	折田文郎	長崎
東法	松本登	和歌山	東文	村田正	恭	茨城	東法	山本統一	大阪
東法	横山惟忠	鹿兒島							

理科甲類 (二十九名)

北理	伊能厚	千葉	東工	大木	恒	佐賀	東北工	大塚丈夫	茨城
東北醫	川野德一	茨城	東農	神田孝	東京	東工	東工	加藤信之	東京
東農	諏訪小一郎	東京	京工	杉本壽	栃木	東北工	東工	澤本光雄	高知
九醫	關辰三	茨城	東工	田名綱典	勝	栃木	京理	高木次郎	東京
東工	拓植茂	山形	東工	所	亨	茨城	東工	中川美明	東京
東工	中山義久	栃木	京農	永田	正	三重	東工	野村準一	三重
京工	橋倉振作	長野	東工	平野宰次	茨	城	東工	福中四郎	兵庫
東醫(藥)	山岸正治	福井	東工	山口貞三	東京	京經	東工	横溝順之助	埼玉
東醫(藥)	吉川俊夫	神奈川	東工	吉本誠佑	静岡	岡			

理科乙類 (三十二名)

千醫	伊藤澄	埼玉	東北醫	飯田一夫	茨城	東北醫	池田義雄	栃木	
新醫	小宅洋	茨城	東北醫	大久保孝	山梨	東農	大倉俊一	神奈川	
東北醫	鎌田孝	宮城	東北醫	公文	六	高知	東工	佐川正	福島

長醫	齋藤英吉	山形	東醫	實方正	富千葉	東醫	澤田龍夫	愛知
東醫	杉田慎次	茨城	東北醫	鈴木達也	茨城	千醫	田崎秀	茨城
京理	田中亨	東京	長醫	多田孝平	宮崎	千醫	高橋龍嗣	秋田
東醫	高安久雄	栃木	東醫	戸丸邦彦	東京	金醫	鳥羽田正士	茨城
東醫	友常千吉	茨城	岡醫	萩原貞二	埼玉	東醫	林周一	和歌山
東醫	平島準	栃木	東醫	藤岡萬雄	長野	千醫	紅谷篤男	千葉
千醫	星野一郎	千葉	岡醫	森紀久男	佐賀	千醫	谷口治	茨城
名醫	山田高男	静岡	東理	湯澤博	栃木			

昭和十三年三月卒業 (第十六回)

文科甲類 (六十名)

東經	阿部毅	埼玉	東法	伊藤一郎	千葉	東經	池田弘	群馬
東法	石崎百世	茨城	東文	齋宮勇作	長崎	東法	梅村知躬	千葉
京經	榎本亮	神奈川	京經	尾畑正照	東京	東法	織田澤三	群馬
京經	大熊幸生	埼玉	東法	大和田涉	新潟	東經	太田勝夫	静岡
東法	鹿野龍俊	東京	九法文	海東太三	東京	東經	柏崎孝彌	栃木
	片野美佐雄	茨城	東經	川島清	茨城	東經	川手恒道	東京

文科乙類 (二十八名)

東經	木下浩	東京	東經	木村三郎	群馬	東法	小林正秋	廣島
東經	粉川幸男	茨城	東經	近藤彌之輔	群馬	東文	佐藤兵衛門	茨城
東文	齋藤茂	東京	東法	作間正雄	山口	東文	櫻井恒次	長野
東文	鹽原茂	茨城	東經	柴山正明	東京	東經	島田四郎	神奈川
東法	島村忠男	茨城	東經	白石靖夫	茨城	東法	白岩晃	栃木
東經	鈴木睦二	埼玉	東法	瀬水泰新	新潟	京法	關悦夫	千葉
東法	關山忠光	茨城	東經	相馬常敏	栃木	東文	外林大作	廣島
東經	高橋博	茨城	東經	高橋泰郎	岩手	東法	竹内藤男	茨城
京經	千葉博幹	奈良	東經	筒井和夫	三重	東文	飛田忠英	茨城
東經	西村秀八	群馬	東經	原秀	東京	東法	原象平	東京
東法	平井太郎	埼玉	東經	藤川仁兵衛	千葉	東法	堀中克	栃木
東經	松下幹男	東京	東經	矢口親正	山形	東經	矢野彰	愛媛
東經	安健一	東京	東經	山川健次	岡山	東文	山口隆兵	兵庫
東法	山崎芳郎	新潟	京經	山田修	東京	東法	横川忠愛	媛
九法文	青木正巳	茨城	東文	荒川久壽男	茨城	東法	飯塚喜之	茨城



昭和十四年三月卒業 (第十七回) 文科甲類 (五十七名)

東文	東文	東經	法東	東經	東法	東經	東文	東文	東經	東文	東文	東經	東法	東經	東法	東經	東文	東文	東經	
西島雅彦滋賀	豐崎卓茨城	德江健群馬	田澤三太長野	高崎正義茨城	鈴木俊夫茨城	正川勤群馬	兒玉久則廣島	木村桂二茨城	掛川俊夫長野	江畑貞吉秋田	飯村大吉茨城	石川時雄茨城	井上證翁新潟	井上忠彦東京	猪瀬修二栃木	飯塚幸介千葉	上原進茨城	岡村章三佐賀	川合昂茨城	
東文	東文	東經	法東	東經	東法	東經	東文	東文	東經	東文	東文	東經	法東	東經	東法	東經	東文	東文	東經	
被川義雄福島	中澤規次長野	德山道雄山形	外山四郎東京	高瀬彌太郎神奈川	鈴木雅雄茨城	新行内剛千葉	佐々木律造岩手	小林辰重群馬	景山實鳥取	大橋正愛知	上野文男山梨	石津久雄静岡	井上忠彦東京	猪瀬修二栃木	飯塚幸介千葉	上原進茨城	岡村章三佐賀	川合昂茨城	川合昂茨城	
東經	東經	法東	東文	東經	東法	東經	東文	東文	東經	東經	東經	法東	東經	東法	東經	東文	東文	東經	東文	東經
日比野佐治愛知	中村進茨城	飛澤秀雄群馬	遠山富也千葉	角岡大信東京	關野明一神奈川	鈴木三郎長野	佐藤哲郎福島	小山泰助東京	川合昂茨城	岡村章三佐賀	上原進茨城	飯塚幸介千葉	猪瀬修二栃木	飯塚幸介千葉	上原進茨城	岡村章三佐賀	川合昂茨城	川合昂茨城	川合昂茨城	

文科乙類 (二十五名)

東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法
菱沼卓郎茨城	福富春雄東京	本郷俊男神奈川	武笠克巳茨城	山本博奈良	伊藤春一千葉	岩立勳千葉	加納健二東京	小林淳一静岡	坂本則滿東京	坪井豊男岡山	滑川民藏茨城	福岡力東京	吉村芳夫和歌山	平野廣安東京	福山正道栃木	湊徹郎福島	山村乾一長野	横川國雄群馬	石川正一石川
東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法
東經	東法	東經	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法	東法
布施芳男東京	藤澤宗治新潟	湊徹郎福島	山村乾一長野	横川國雄群馬	石川正一石川	熊醫落合章雄茨城	栗原一郎栃木	小山義久東京	田中敬通栃木	中尾賢次東京	原稔神奈川	宮澤千古長野	保知孝一郎滋賀	池田光二東京	奥田信一東京	梶山荷茨城	小林保茨城	立川基介東京	遠山修茨城



理科甲類 (三十名)

東大	石河健太	東京	石渡孝千	今井直治	新潟
東大	大原英雄	東京	加唐英一	鹿島國彦	群馬
東大	柿沼俊一	栃木	北見健兒	清野節男	神奈川
東大	栗田喲	茨城	小澤修	後藤瑞夫	茨城
東大	佐藤秋比古	東京	坂本庫衛	莊司寬	茨城
東大	關根重信	千葉	妹尾義郎	塚原廣	栃木
東大	馬場豊彦	東京	花形澄	楢貝六合	千葉
東大	堀宣彦	大分	松崎英雄	宗像元介	大阪
東大	矢野孝之	香川	山崎六哉	湯澤誠	東京
東大	吉川宣澄	大阪	吉川實秋	渡邊誠	群馬
東大	甘糟榮四郎	神奈川	井坂重長	伊藤武夫	千葉
東大	浦野英夫	長野	小沼寛	大内權八	茨城
東大	大野俊夫	秋田	面川信春	數馬欣一	福島
東大	吉田宣澄	大阪	吉川實秋	渡邊誠	群馬
東大	矢野孝之	香川	山崎六哉	湯澤誠	東京
東大	堀宣彦	大分	松崎英雄	宗像元介	大阪
東大	馬場豊彦	東京	花形澄	楢貝六合	千葉
東大	關根重信	千葉	妹尾義郎	塚原廣	栃木
東大	佐藤秋比古	東京	坂本庫衛	莊司寬	茨城
東大	栗田喲	茨城	小澤修	後藤瑞夫	茨城
東大	柿沼俊一	栃木	北見健兒	清野節男	神奈川
東大	大原英雄	東京	加唐英一	鹿島國彦	群馬
東大	石河健太	東京	石渡孝千	今井直治	新潟

理科乙類 (二十八名)

東大	蕪木相資	新潟	佐久間武司	千葉	千葉
東大	齋藤寛	群馬	齋藤武夫	群馬	千葉
東大	城石恒一	東京	立柄俊二	新潟	東大
東大	中澤悟郎	北海道	滑川眞吉	千葉	千葉
東大	日野仁	岩手	藤澤理博	大阪	京大
東大	益子昭教	茨城	山田喜久馬	東京	京大
東大	渡邊和徳	茨城	山田喜久馬	東京	京大
東大	蕪木相資	新潟	佐久間武司	千葉	千葉
東大	齋藤寛	群馬	齋藤武夫	群馬	千葉
東大	城石恒一	東京	立柄俊二	新潟	東大
東大	中澤悟郎	北海道	滑川眞吉	千葉	千葉
東大	日野仁	岩手	藤澤理博	大阪	京大
東大	益子昭教	茨城	山田喜久馬	東京	京大
東大	渡邊和徳	茨城	山田喜久馬	東京	京大
東大	蕪木相資	新潟	佐久間武司	千葉	千葉
東大	齋藤寛	群馬	齋藤武夫	群馬	千葉
東大	城石恒一	東京	立柄俊二	新潟	東大
東大	中澤悟郎	北海道	滑川眞吉	千葉	千葉
東大	日野仁	岩手	藤澤理博	大阪	京大
東大	益子昭教	茨城	山田喜久馬	東京	京大
東大	渡邊和徳	茨城	山田喜久馬	東京	京大
東大	蕪木相資	新潟	佐藤道太郎	千葉	千葉
東大	齋藤寛	群馬	坂本哲	埼玉	埼玉
東大	城石恒一	東京	椿原彦吉	福岡	福岡
東大	中澤悟郎	北海道	西澤英三郎	埼玉	埼玉
東大	日野仁	岩手	牧司	栃木	栃木
東大	益子昭教	茨城	吉川俊一	長野	長野
東大	渡邊和徳	茨城	吉川俊一	長野	長野

二 卒業生進入大學別表

年入學	大學	部	法	醫	工	文	理	農	經	法文	商	計
大	東京帝國大學		四八二	一三一	二四二	二五二	三五	九五	四一六			一、六六二
正	京都帝國大學		一〇二	二九	二二	二九	一一	二〇	七六			二八九
十	東北帝國大學			七六	三三		一一			一八五		三〇五
二	九州帝國大學			一九	六		六	六		一二		四三
	北海道帝國大學											七
	大阪帝國大學			九	六		六					一五

卒業生

和昭	昭和十三年年度										
	計	公立	私立	東京	文理	工業	神戶	商業	公立	東京	帝國
京											
東											
京											
都											
帝											
國											
大											
學											
大											
學											
大											
學											
大											
學											
大											
學											
大											
學											
計	五八										
四	八四										
一	四六										
一	九										
一	一										
二	二四										
一	三三										
一	三一										
一	二八										
三	三										
三	六五										
一	二二										
三	四九										
三	九二										
	二九										
	八										
	一四										
	一四										
	二五										
一	五七										
六	四										
一	一										
一	三										
一	三										
六											

二二〇

十四年

年	東	京	帝	國	大	學	東	京	工	業	大	學	計
三													
四													
一	五	一	一	九	一	二	五	一	一				
二													
三													
三	八												
一													
三													
六													
四	一	一											
三													
九													
二													
四													
一													
九	八	五	一	一	九	一	二	六	三				

備考

- 一、昭和十四年大學入學者中昭和十三年以前ノ卒業生九六人（九六人中一且大學ニ入學シ志望變更ノ爲退學更ニ入學セシ者六人アリ）ヲ含ム
- 二、大學不入學者ハ昭和十四年卒業生四〇人、昭和十三年以前ノ卒業生一四人、計五四アリ

三 卒業生出身地方別表

卒業生

二二一

地方別	人員	地方別	人員	地方別	人員	地方別	人員
茨城	六七九	山形	三四	香川	一六	香川	八
東京	五〇七	兵庫	二九	石川	一六	石川	八
栃木	二一五	岩手	二九	愛媛	一六	愛媛	七
千葉	一七六	宮城	二七	高知	一六	高知	七
福島	一三三	山口	二七	京都	一五	京都	六
神奈川	一三一	廣島	二五	鳥取	一五	鳥取	六
群馬	八九	秋田	二五	鹿兒島	一四	鹿兒島	五
長野	八七	岡山	二四	滋賀	一四	滋賀	四
埼玉	七一	愛知	二四	和歌山	一三	和歌山	四
新潟	五〇	三重	二一	熊本	一一	熊本	三
山梨	四九	福岡	一八	宮崎	一〇	宮崎	一
静岡	四〇	大井	一七	佐賀	一〇	佐賀	一
北海道	三四	大阪	一七	長崎	八	長崎	一
計		計		計		計	
	二、八一		一、八一		一、八一		一、八一

### 一三 水高防護團規程

#### 第一章 總則

第一條 水高防護團ハ水戸高等學校職員生徒ヲ以テ編成シ戰時又ハ事變ニ際シ敵ノ空襲ニ對シ水戸高等學校ヲ防護スルヲ以テ目的トス

#### 第二章 編制並ニ各機關ノ任務

第二條 本團ノ編成左ノ如シ

編	區	分				人員	摘	要
		團長	副團長	本部附	庶務係			
		一	二	一	一	校長		
						校務課長		
						配屬將校		
						役員以外ノ職員、校友會幹事		
						庶務課書記		
						教務課書記		
						警報係		

防護團規程

考 備	部 備			警 備		部	
	救 護 班	消 防 班	防 毒 班	警 戒 班	副 部 長	部 長	
一、各班ハ寮生ヲ以テ編成シ寮生以外ハ警備部長臨時其任務ヲ課スルモノトス但シ消防班ハ常時ノ消防班ニ第五寮生徒ヲ増加スルモノトス 二、小使給仕ノ使用區分ハ庶務係ニ於テ臨時命令スルモノトス 三、校醫ハ救護班附トシ傷病者ノ救護ニ任ス	長一(第六、第七)寮生徒 副二(寮生徒)	長一(第五寮生徒) 副二(寮生徒)	長一(第三、第四)寮生徒 副二(寮生徒)	長一(第一、二)寮生徒 副二(寮生徒)	二	長一 副四	
	副長第六、第七寮委員	副長體操課教官 第五寮委員	副長體操課教官 第三、第四寮委員	副長體操課教官 第一、第二寮委員	寮正副委員長	生徒主事 二	長會計課長 同會計課長 圖書課書記 圖書課書記 一一一

第三條 本部各機關ノ任務左ノ如シ

- 一、團長ハ本團ノ業務一切ヲ統轄ス
- 二、副團長ハ團長ヲ補佐シ團長事故アル時ハ之ヲ代理ス

三、庶務係ハ一般庶務ニ任ス

四、警報係ハ地區防衛司令部及官公衛特設防護團等トノ通信連絡並ニ校内ニ警報傳達ノ業務ニ任ス

五、會計係ハ防護團ニ關スル會計經理ニ任ス

六、配給係ハ職員生徒校内詰切ヲ要スル場合等ニ於ケル寮生以外ノ者ニ對スル給養ニ任ス

七、工作係ハ建造物、電氣、水道、電話等ノ應急修理其他臨時所要ノ施設工作業務ニ任ス

第四條 警備部各機關ノ業務左ノ如シ

一、部長ハ團長ノ命ヲ受ケ警備部各機關ノ業務ヲ統轄シ團長ニ對シ其ノ責ニ任ス

二、副部長ハ部長ヲ補佐シ部長事故アル時ハ之ヲ代理ス

三、警戒班ハ對空監視警戒及學校正門各入口ニ監視者ヲ配置シ校内ヲ巡視シ一般ノ警戒取締ニ任ス

四、消防班ハ敵飛行機ノ燒夷破壞攻撃ニ對シ消火並ニ防火作業ニ任ス

五、防毒班ハ敵ノ瓦斯空襲ニ對シ防毒及消毒作業ニ任ス

六、救護班ハ傷病者ノ收容及救護ニ任ス

### 第三章 警報及燈火管制

第五條 警報ハ警戒警報、空襲警報トシ之カ傳達解除ノ方法及各機關ノ行動左ノ如シ

一、地區防衛司令部及關係官公衙ヨリ警報ノ傳達ヲ受ケタル場合警報係ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ  
校內一般ニ傳達シ各機關ハ夫々其配置ニ就クモノトス

但シ狀況ニ依リ各機關全部ノ配置ヲ必要トセサル場合ハ臨機之ヲ命ス

1、職員生徒在校間

各教室控室備付ノ電鈴ヲ五分間鳴スモノトス此場合各級代表生徒ハ命令受領ノ爲本部  
庶務課ニ至リ所要ノ命令ヲ受領シ一般ニ傳達スルモノトス

2、職員生徒放課後

宿直員ヨリ各寮ニ小使ヲ派シ之ヲ各寮委員ニ傳達シ委員ハ在寮生徒一般ニ之ヲ傳達シ  
且ツ自ラ命令受領ノ爲本館職員宿直室ニ至ルモノトス

二、地區防衛司令部又ハ關係官公衙ヨリ空襲警報ノ傳達ヲ受ケタル場合ハ警報係ハ直チニ鐘樓  
ノ鐘ヲ連打シ一般ニ之ヲ傳達シ各機關ハ別命ナク各其配置ニ就クモノトス

第六條 燈火管制ハ非常管制、警戒管制トシ左ノ區分ニ依リ實施スルモノトス

一、非常管制ハ空襲警報ノ發令ヨリ空襲警報ノ解除ニ至ル間左ノ如ク之ヲ實施スルモノトス

1、屋外燈 消 燈

2、屋內燈 隱蔽又ハ消燈

二、警戒管制ハ警戒警報發令ヨリ其解除迄空襲警報期間ヲ除キタル間左ノ如ク之ヲ實施スルモ  
ノトス

1、屋外燈 消 燈

2、屋內燈 一坪ノ面積ニ對シ一〇ワット以內

一燈六〇ワット以下ニ減光シ且ツ外部ニ對シ遮光ス

### 第四章 各機關ノ配置

第七條 本部各機關ハ左ノ如ク配置ニ就キ各其擔任業務ヲ實施スルモノトス

一、團長及副團長ハ教務課室ヲ定位トス

二、庶務係ハ庶務課室ニ位置ス

三、警報係ハ受付電話室ニ位置ス

四、會計配給工作係ハ各會計課室ニ位置ス

- 五、本部附職員ハ各常時ノ控室ニ位置ス
- 第八條 警備部各機關ハ左ノ如ク夫々配置ニ就キ各其擔任業務ヲ實施スルモノトス
- 一、部長、副部長ハ訓務課室ヲ定位トシ部内各班ノ業務實施ヲ監視シ監督指導ニ任ス
  - 二、警戒班ハ其控室ヲ本館入口階下教室トシ正門各通用門ニ各複哨ヲ配置シ別ニ本館屋上ニ對空監視哨ヲ配置シ校内ニ無用ノ者ノ出入ヲ禁シ適宜巡察ヲ派遣シ一般ノ取締監視警戒ニ任スルモノトス
  - 三、各歩哨ノ交代巡察ノ派遣等ハ班長ニ於テ臨時規定スルモノトス
  - 三、防毒班ハ控所ヲ定位トス之ヲ適宜數班ニ區分シ防毒並ニ消毒ヲ要スル場所ニ直チニ之ヲ派遣シ消毒ニ任スルモノトス
  - 防毒及消毒資料ハ逐次整備スルモノトス
  - 四、消毒班ハ定位ヲ消防器具置場トシ之ヲ消防班及消火班ニ區分シ必要ニ應シ直チニ派遣シ得ル如ク準備スルモノトス
  - 五、救護班ハ其定位ヲ攝生室トシ之ヲ數班ニ區分シ救護ヲ要スル傷病者發生ノ場合直チニ之カ收容救護ニ任スルモノトス
  - 六、寮生以外ノ生徒ハ大講堂ニ集合シ警備部長ノ命ニ依リ臨機定ムル所ノ任務ニ就クモノトス

### 第五章 應急準備並ニ訓練

- 第九條 防護團長ハ學年始ニ於テ年度防護團編成表ヲ調製シ之ヲ一般特ニ新入學生徒ニ徹底セシムルモノトス
- 第十條 警備部各班長ハ各其擔任業務實施ノ細部ヲ計畫シテ部長ニ報告スルト共ニ機會ヲ求メテ班員ヲ訓練シ實施ニ支障ナカラシムルモノトス

### 第六章 雜 則

- 第十一條 本團設立並ニ準備訓練ノ爲特ニ經費ヲ配當セス  
但シ防毒及消毒資材其他必要ノ資材ハ逐次整備スルモノトス
- 第十二條 防護團員中生徒ノ服裝ハ脚絆ヲ着用スルモノトス
- 第十三條 休暇間職員生徒不在ノ時ハ宿直員ニ於テ地方防護團其他ト連絡シテ防護ニ任スルモノトス
- 第十四條 本規程ハ昭和十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

## 一四 水戸高等學校校友會會則

第一條 本會ハ水戸高等學校校友會ト稱ス

第二條 本會ノ目的ハ會員ノ親睦ヲ厚フシ智徳ヲ磨キ身體ヲ練リ以テ校風ヲ振作スルニ在リ

第三條 本會ノ會員ハ左ノ三種ヨリ成ル

一、通常會員 本校生徒

一、特別會員 本校職員

一、名譽會員 本校舊教官及特ニ本會ニ功勞アリシ者

第四條 本會ニ左ノ諸部ヲ置ク

一、總務部

一、劍道部

一、柔道部

一、弓道部

一、陸上競技部

- 一、山岳部
  - 一、庭球部
  - 一、野球部
  - 一、辯論部
  - 一、文藝部
  - 一、水泳部
  - 一、ア式蹴球部
  - 一、ラ式蹴球部
  - 一、籠球部
  - 一、音樂部
  - 一、美術部
- 第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク（各部委員ハ他ノ役員ヲ兼ヌルコトヲ得ス）
- 一、會長 一名 學校長ヲ推ス
  - 一、部長 各部一名 特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス
  - 一、理事 二名 特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス

- 一、指導員 若干名 各部ニ之ヲ置クコトヲ得特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス
  - 一、幹事 二名 （文科及理科各一名）通常會員ヨリ互選ス
  - 一、會計検査委員 三名 委員長一名特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス、委員二名學級委員ヨリ互選ス
  - 一、部委員 各部若干名（總務部ヲ除ク）各部員ノ互選ニ基キ當該部長ノ推薦ニ依ル
  - 一、學級委員 各學級正副各一名、各學級會員ヨリ互選ス
  - 一、書記 一名 特別委員中ヨリ會長之ヲ委囑ス
  - 一、主計 一名 特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス
- 第六條 本會役員ノ任務左ノ如シ
- 一、會長ハ會務ヲ總攬ス
  - 一、部長ハ當該部ノ事務ヲ管理ス 但シ總務部長ハ會長事故アルトキハ其事務ヲ代理ス
  - 一、理事ハ總務部ニ屬シ一般庶務會計ニ參與ス
  - 一、幹事ハ總務部ニ屬シ一般庶務會計ヲ處理ス
  - 一、會計検査委員ハ備品會計等ノ検査ヲナス
  - 一、部委員ハ當該部ノ庶務會計ヲ處理ス



- 一、學級委員ハ各學級會員ヲ代表ス
- 一、書記ハ庶務ニ關スル事務ニ從事ス
- 一、主計ハ會計ニ關スル事務ニ從事ス

第七條 本會役員ノ選舉法及任期ハ次ノ如シ

- 一、幹事 別ニ定ムル幹事選舉法ニヨリ選舉ス
- 一、會計検査委員 毎年五月中改選ス
- 一、部 委員 毎年十二月中改選ス
- 一、學級委員 每年五月中改選ス
- 一、幹事、部委員ハ毎年一月開會ノ總會ニ於テ決算報告ヲ了シタル翌日交代ス

第八條 本會ハ必要ニ應シ隨時左記役員會ヲ開ク

- 一、役員總會 會長、部長、理事、幹事、會計検査委員、部委員(各部一名)學級委員正委員缺席ノ場合ニハ副委員ヲ以テ組織シ豫算決定其他重要事項ニ就キ決議ス但シ幹事各部委員ハ採決ニ加ハルヲ得ス
- 役員總會ハ總數三分ノ二以上出席スルニアラサレハ開クコトヲ得ス
- 一、役員小會 總務部長、理事、幹事、會計検査委員ヲ以テ組織シ緊急ノ事項其他一般會務ニ

就キ決議シ會長ノ承認ヲ經テ役員總會ニ代フ

前項ノ決議事項ハ次ノ役員總會ニ於テ承認ヲ受クルヲ要ス

第九條 本會ノ會費ヲ左ノ如ク定ム既納會費ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付セス

- 一、通常會員ハ入會金參圓トシ第一學期授業料ト共ニ納ム
- 一、通常會員ノ會費ハ金拾貳圓トシ第一學期金七圓第二學期金五圓ヲ授業料ト共ニ納ム但シ昭和八年度ニ限り特ニ第一學期金八圓第二學期金四圓ヲ徴收ス
- 一、特別會員ハ一定ノ金額ヲ齎出スルモノトス

第十條 本會ノ豫算決定次ノ如シ

- 一、各部委員ハ豫メ幹事ト協議ノ上豫算請求書ヲ作成シテ總務部ニ提出ス
- 二、前項ノ請求書ニ基キ役員小會ニ於テ豫算案ヲ作製ス
- 三、前項ノ豫算案ニ就キ役員總會ニ於テ審議決定ス

第十一條 各部ニ左ノ帳簿ヲ備付ク

- 一、備品簿
- 一、記錄簿
- 一、豫算明細書

一、支拂傳票及出納簿

外ニ總務部ニ會員名簿ヲ備付ク

第十二條 會計検査委員ハ每學期一回以上各部ノ備品會計等ノ検査ヲナス

第十三條 各部ハ毎年會計年度末ニ於テ歳出入決算報告書ヲ調製シ一月中指定ノ日マテニ總務部ニ

提出シ總務部ハ之ヲ役員總會ニ提出シ其承認ヲ經タル上總務部ヨリ之ヲ公示ス

第十四條 書記及主計ニハ每年度末若干ノ報酬ヲナスモノトス

第十五條 本會會計規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十六條 本會會則及會計規程ノ改正ハ役員總會出席役員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルヲ要ス

附 則

本會會則ハ大正十四年七月一日ヨリ之ヲ實施ス

一五 水戸高等學校校友會會計規程

第一條 本會ノ會計年度ハ毎年一月十一日ニ始マリ翌年一月十日ニ終ル

第二條 一月中ハ前年度豫算ノ一割以内ノ範圍ニ於テ支拂傳票ヲ發行シ得

但シ一月十一日ヨリ一月末日マテ主計ハ現金ノ支拂ヲナササルモノトス

第三條 本會ノ歳入ハ會費預金利子基本金利子及寄附金トス

第四條 本會ノ豫算ハ歳入ヲ以テ之ニ充テ左ノ五項ニ分チ豫算明細書ヲ作製ス

一、各 部 費

二、運 動 會 費

三、對 外 試 合 費 (通常會員會費十四分ノ四以内)

四、豫 備 費

五、基本金積立金

第五條 豫算内ニ於ケル各項ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ス

流用ノ必要アラハ豫メ會計検査委員長ノ檢印ヲ受クルヲ要ス

第六條 一、各部ニ於テ經費ノ支出ヲ要スル物件ノ購入又ハ修繕ヲナシ又ハ其他ノ支出ヲナサント

スル時ハ本會所定ノ支拂傳票ヲ用ヒ必ス其傳票ト引換ニ物件ヲ受領スヘシ

二、總テ支出ハ豫算ノ範圍ヲ超過シテナスコトヲ得ス若シ豫算ノ範圍ヲ超過シテ傳票ヲ發行シタル時ハ發行當事者ノ連帶責任ニ歸シ之ヲ辨償セシム

三、支出傳票ニ依ラスシテ物件ノ購入修繕其他ノ契約ヲナシタル時ハ當事者ノ責任ニ歸シ本會ハ一切之方爲メニ要スル支拂ヲナサス

第七條 謝禮金又ハ遠隔ノ地ニテ購入ヲ要シ代金請求者自身出頭シ得サル時及委員ニ於テ現金ノ先拂ヲ便トスル時ハ傳票ニ會計検査委員ノ檢印ヲ得テ主計ヨリ現金ヲ受領スルコトヲ得  
前項ニ依リ支拂ヲ爲シタル時ハ直ニ受領書其他ノ證憑書類ヲ會計検査委員ニ指示シ殘額アリタル時ハ之ヲ主計ニ返付スヘシ

第八條 會計ニ關スル總テノ證憑書類受領證等ハ會計報告ヲ終ルマテ之ヲ保管スルヲ要ス

第九條 指定寄附金ハ本會ノ基本金トス

第十條 基本金ハ役員總會ノ決議ニ依ルニアラサレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十一條 現金ノ出納ハ主計一切之ヲ掌ル

第十二條 現金ハ會長ノ名義ヲ以テ信用アル銀行ノ預金トシテ之ヲ保管ス

第十三條 傳票ノ形式ハ別表ノ通りトシ其ノ有効期間ハ發行年度末限リトス

## 一六 水戸高等學校校友會幹事選舉法

### 第一章 選舉區及選舉期日

第一條 毎年十二月中ニ次年度幹事ノ選舉ヲ行フ

第二條 文科、理科ヲ各一選舉區トシ各一名ヲ選舉ス

第三條 選舉日時ハ總務部長及幹事之ヲ決定シ選舉執行ノ十日前ニ之ヲ揭示ス

### 第二章 選舉權及被選舉權

第四條 通常會員ハ選舉權ヲ有ス但シ左ニ掲クル者ハ之ヲ有セス

一、休學中ノ者

二、停學中ノ者

第五條 通常會員被選舉權ヲ有ス 但シ左ニ掲クル者ハ之ヲ有セス

一、第三學年在學中ノ者

二、休學中ノ者

三、停學中ノ者

### 第三章 候補者

第六條 幹事候補者ヲラントスル者ハ選舉期日ノ揭示アリタル日ヨリ選舉期日前五日迄ニ幹事ニソノ旨ヲ届出ツヘシ

通常會員他人ヲ幹事候補者トナサントスルトキハ前項ノ期間内ニ二十名以上ノ記名捺印ヲ以テ其ノ推薦ノ届出ヲナスコトヲ得 但シ當人ノ承諾ヲ受クル事ヲ要ス

第七條 候補者氏名及其ノ所屬學級ハ立候補届出締切ノ翌日幹事之ヲ揭示ス

### 第四章 投票

第八條 選舉ハ投票ニヨリ投票所ニ於テ之ヲ行フ

投票所ハ各學級教室トス

第九條 一學級ヲ以テ一投票區トシ各一名ノ投票管理者ヲ置ク

第十條 投票管理者ハ學級正委員ヲ以テ之ニ充ツ 但シ學級正委員不在ノトキハ副委員ヲ以テ之ニ充テ副委員又不在ノトキハ總務部長及幹事別ニ之ヲ選任ス

第十一條 投票管理者ハ投票區内ノ秩序ヲ維持シ投票ニ關スル事務ヲ行フ

第十二條 投票者ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ候補者一人ノ氏名ヲ記載シ投票管理者ニ差出スヘシ

投票用紙ニハ投票者ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

第十三條 投票用紙ハ選舉ノ當日投票管理者之ヲ幹事ヨリ受取り選舉人ニ交付ス

第十四條 代理投票ハ之ヲ許サス

第十五條 投票管理者ハ投票終了直後投票數ト投票者數トヲ照合シ幹事ニ提出スヘシ

### 第五章 開票

第十六條 總務部長理事及幹事ハ開票管理者トナリ開票ニ關スル事務ヲ行フ

第十七條 開票ハ開票所ニ於テ之ヲ行フ

開票所及開票時間ハ開票管理者之ヲ定メ開票前ニ之ヲ揭示ス

第十八條 開票ハ選舉終了當日投票管理者立會ノ下ニ各投票區別ニ之ヲ行フ

第十九條 左ノ各號ニ該當スル投票ハ之ヲ無効トス

一、成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ

- 二、候補者氏名ノ外他事ヲ記シタルモノ  
但シ敬稱類ハ此ノ限ニアラス
  - 三、候補者ノ氏名ヲ自書セサルモノ
  - 四、候補者ニアラサル者ノ氏名ヲ記シタルモノ
  - 五、候補者氏名ノ確認シカタキモノ
  - 六、投票中ニ二人以上ノ候補者氏名ヲ記シタルモノ
- 第二十條 開票管理者ハ開票結果ヲ記録シ會長ニ之ヲ報告スヘシ

### 第六章 當選

- 第二十一條 有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者ト定ム  
當選者ヲ定ムルニ當リ得票数同シキトキハ抽籤ニヨリ之ヲ定ム
- 第二十二條 各選舉區ニ於ケル投票總數カ有權者總數ノ三分ノ二ニ達セサルトキハ改メテ選舉ヲ行フ
- 第二十三條 各投票區ニ於ケル投票數カ投票者數ニ一致セサルトキハ當該投票區ニ於テ改メテ投票ヲ行フ

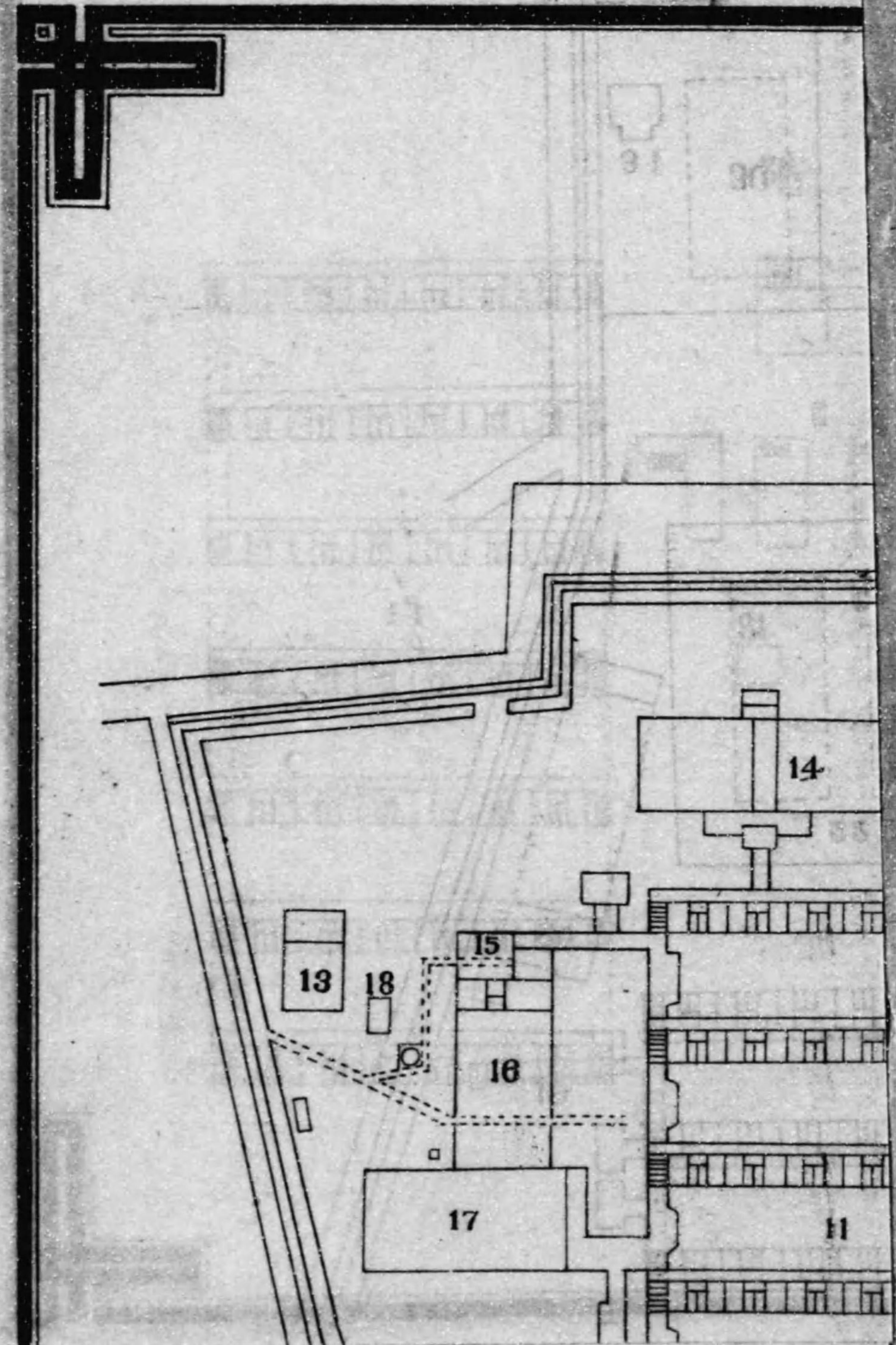
第二十四條 當選者ノ氏名其他開票ニ關スル事項ハ開票後幹事之ヲ揭示ス

### 第七章 補缺選舉

- 第二十五條 幹事任期中缺員ヲ生シタルトキハ補缺選舉ヲ行フ  
前項ノ選舉ニヨリ當選シタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス
- 第二十六條 第五條第一號ノ規定ハ補缺選舉ニハ之ヲ適用セス

### 第八章 附則

- 第二十七條 幹事選舉ニ關シ本法ニ規定ナキ事項生シタル場合ハ總務部長及幹事之ヲ處理ス
- 第二十八條 本法ハ昭和五年度ニ行フ幹事選舉ヨリ之ヲ實施ス



昭和十四年八月廿六日印刷  
昭和十四年八月廿八日發行

水戸高等學校

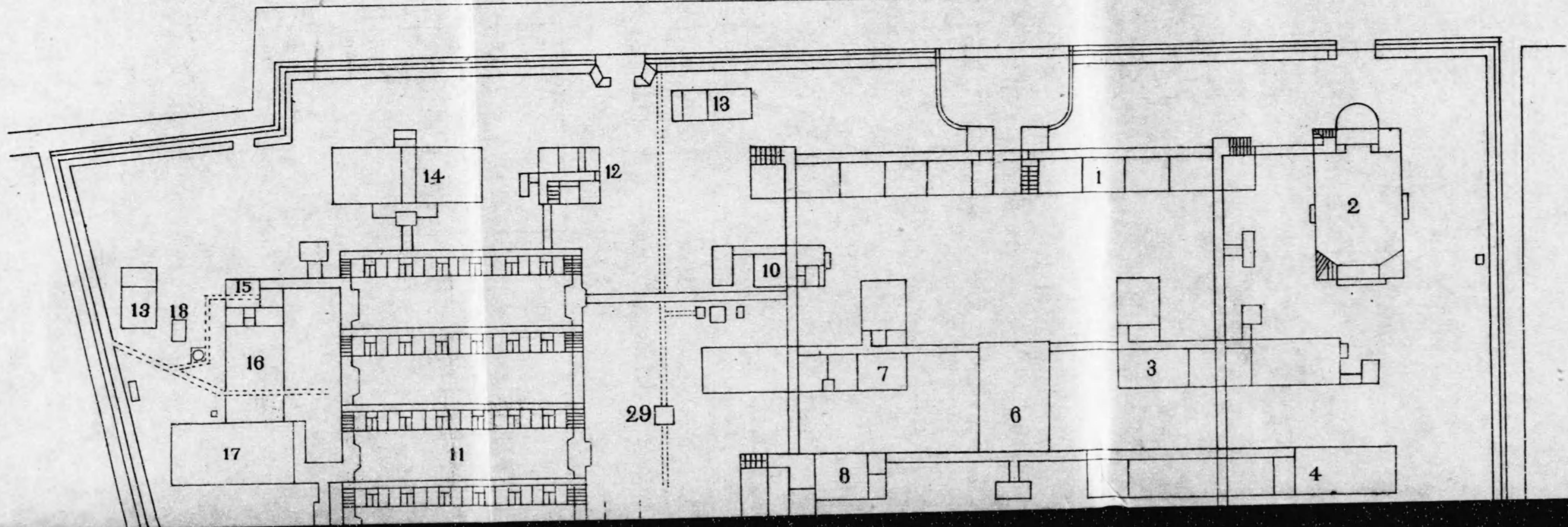
水戸市東原町  
電話七六七・寄宿八五四

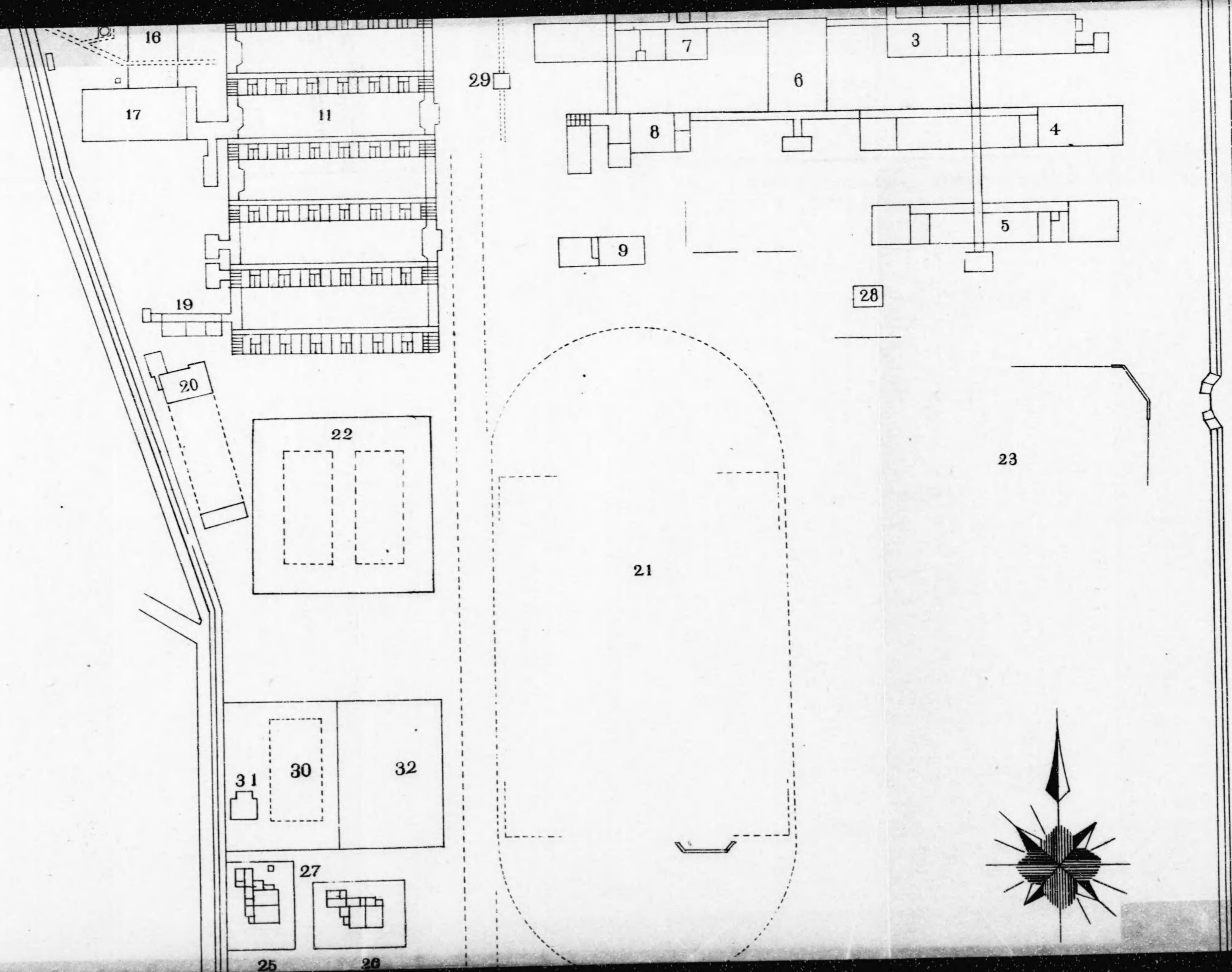
印刷者 小倉莊平  
水戸市大工町一〇九番地

印刷所 二鶴堂印刷所  
水戸市大工町一〇九番地  
電話四七六番

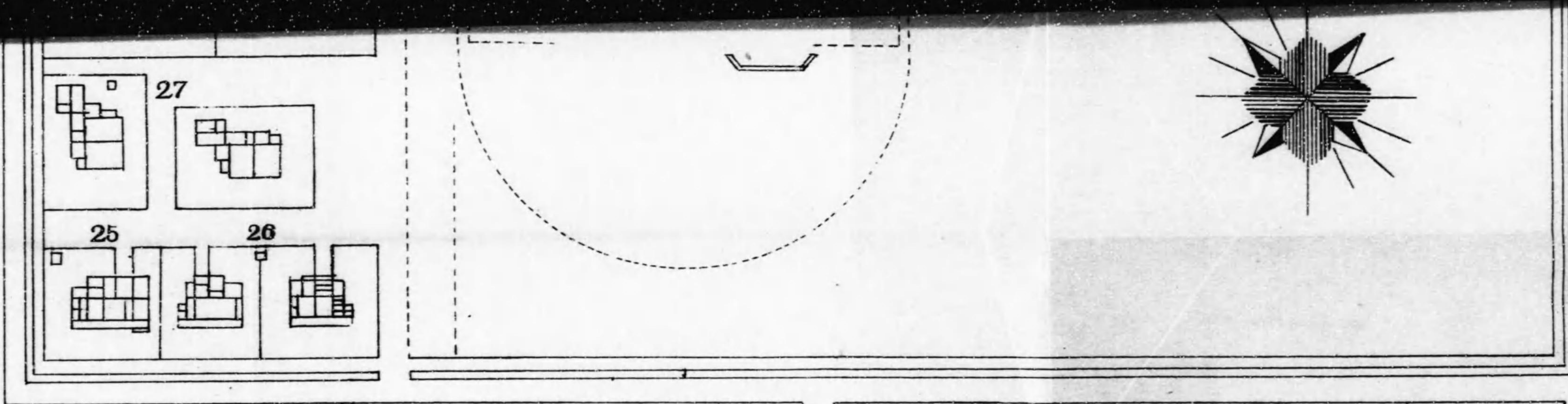
# 水戸高等學校 建物配置圖

本校敷地 二五八一七坪九五 縮尺 一二〇〇分ノ一

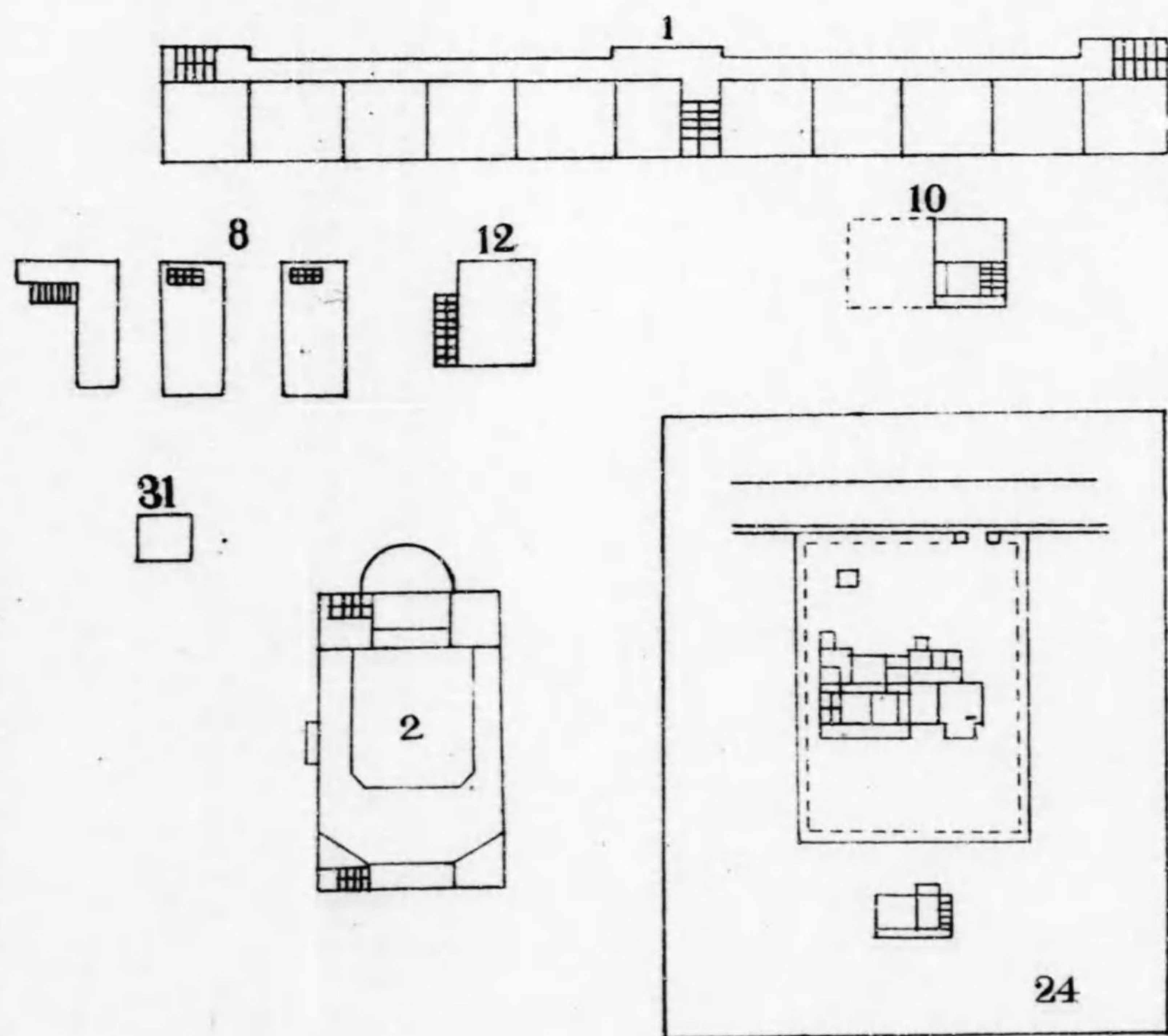
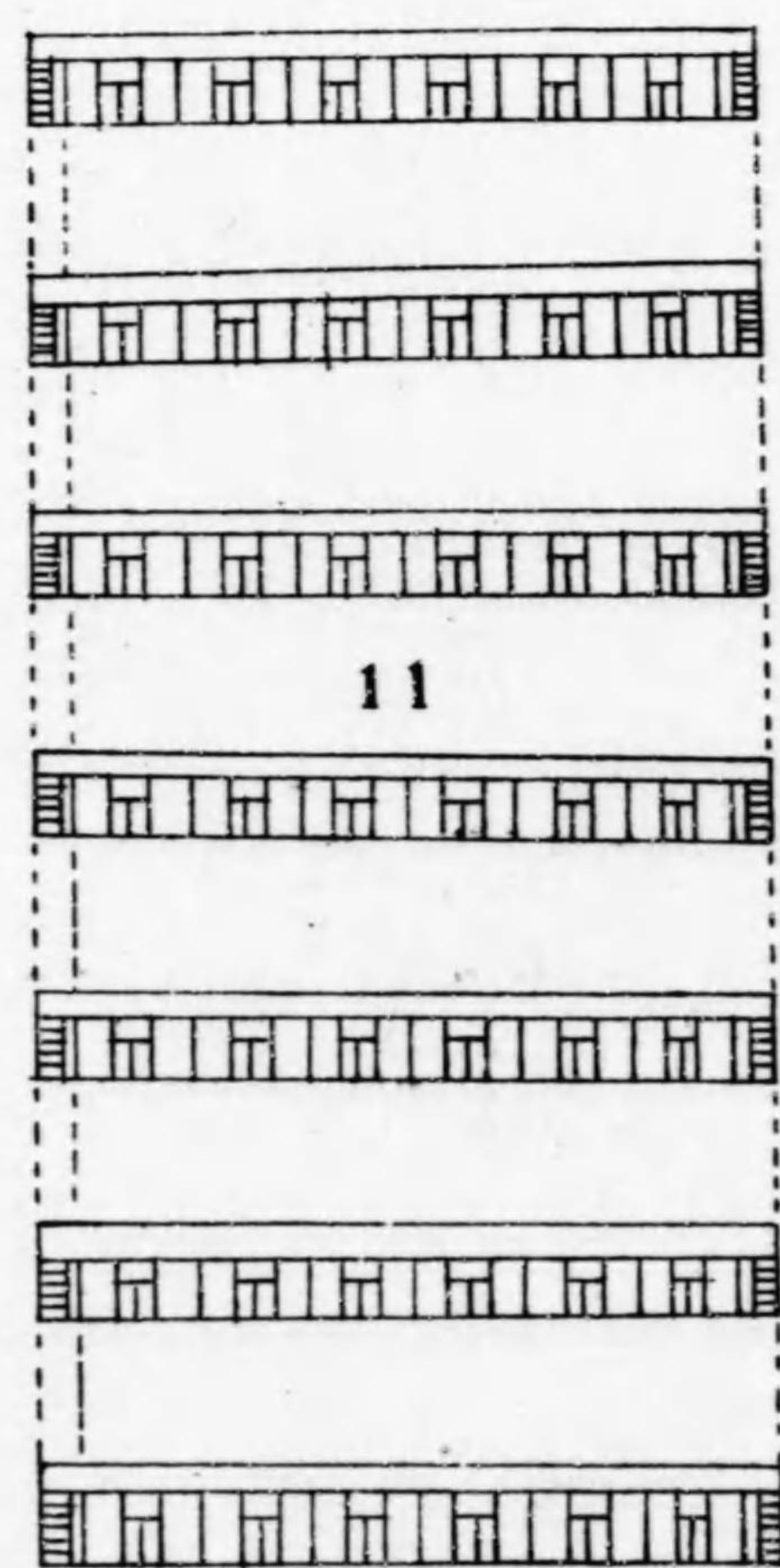








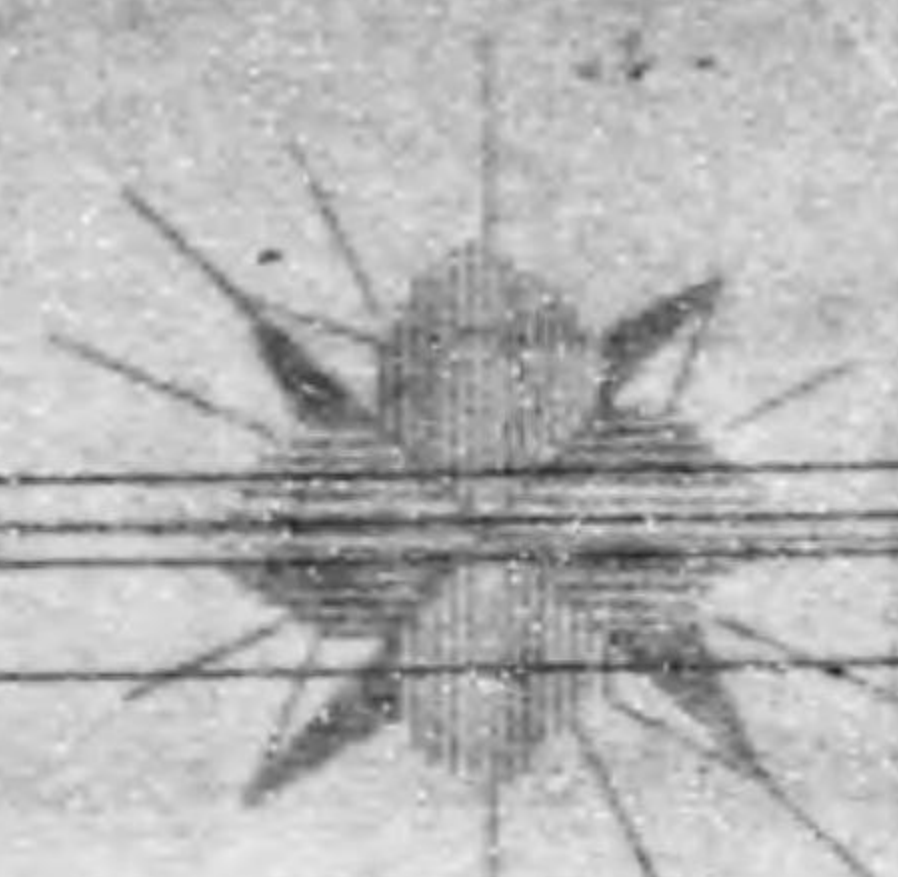
階上



凡例

- |            |               |
|------------|---------------|
| 1 本館       | 17 食堂         |
| 2 講堂       | 18 汽鐘室        |
| 3 化學教室     | 19 攝生室        |
| 4 圖畫教室     | 20 弓道場        |
| 5 博物學教室    | 21 トラック及フィールド |
| 6 生徒控所     | 22 テニスコート     |
| 7 物理學教室    | 23 野球場        |
| 8 圖書館      | 24 校長官舎       |
| 9 銃器室      | 25 生徒主事官舎     |
| 10 電氣室及小使室 | 26 職員官舎       |
| 11 寄宿舎     | 27 外國人教師官舎    |
| 12 訓務課分室   | 28 植物温室       |
| 13 物置場     | 29 鐘樓         |
| 14 柔剣道場    | 30 プール        |
| 15 浴室      | 31 脱衣所        |
| 16 炊事場     | 32 籠球コート      |

283  
31

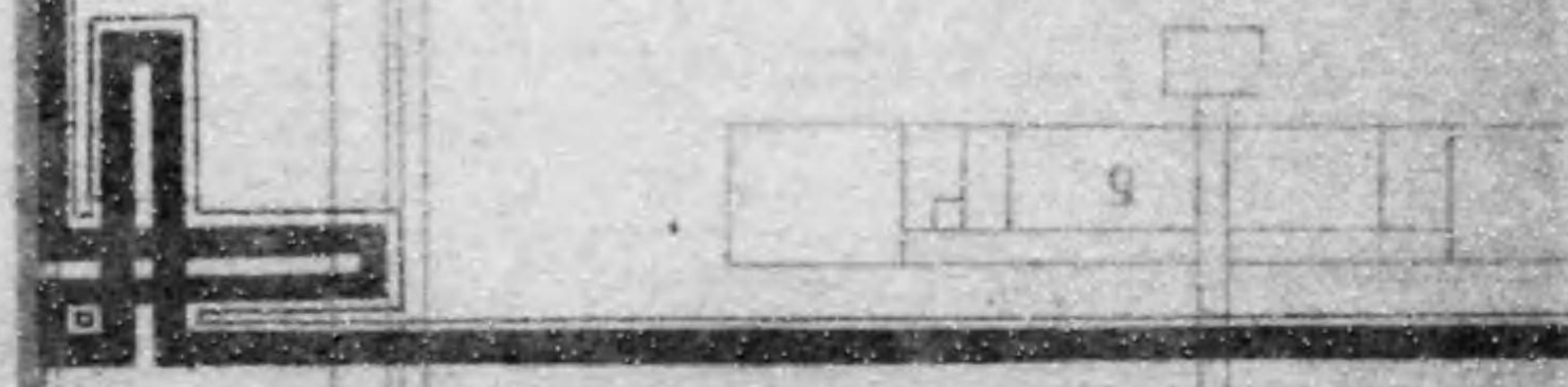


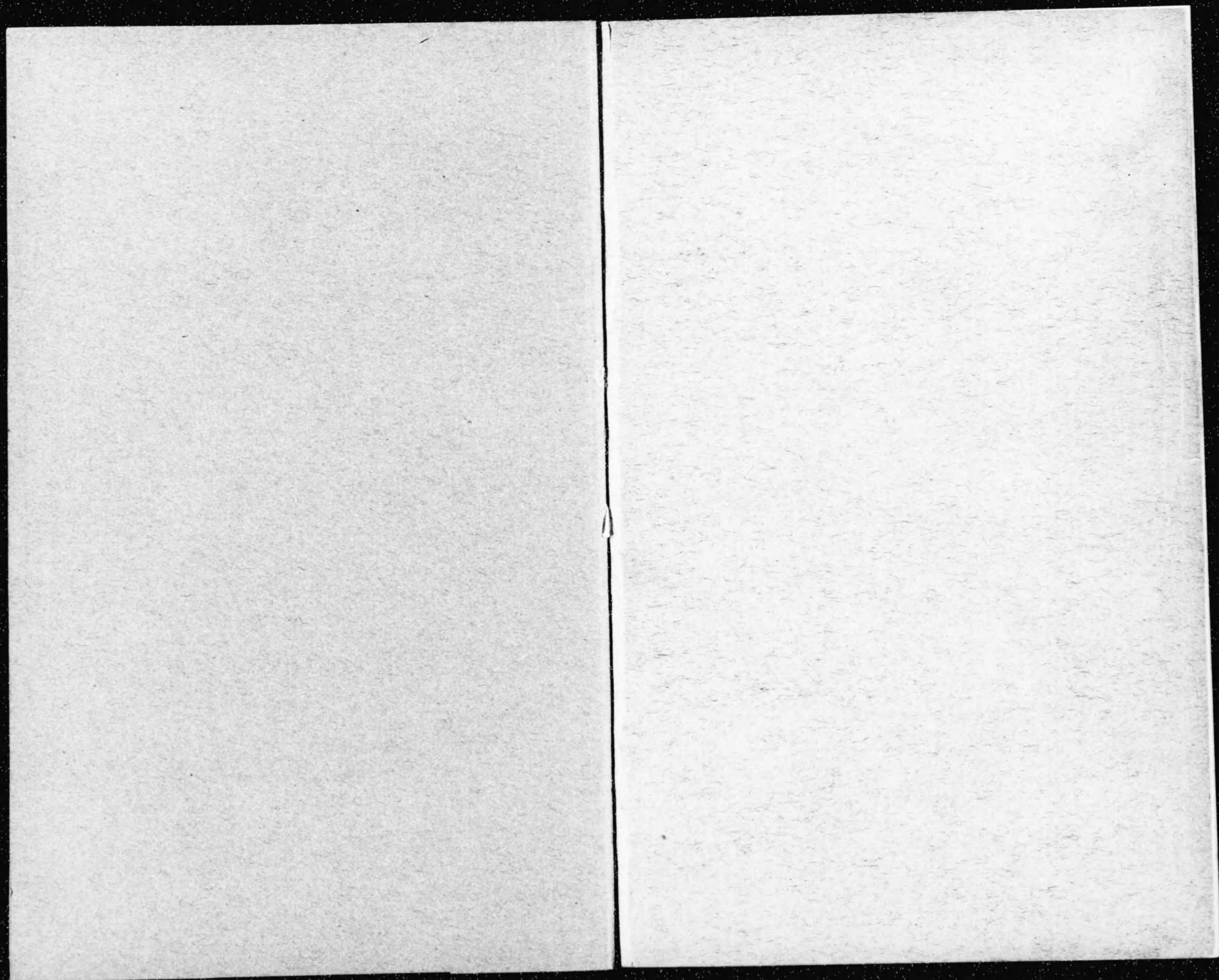
附

凡

堂 倉 71  
 堂 穀 尺 81  
 堂 主 融 01  
 堂 鼓 邑 02  
 小川トクニヤニヤ 12  
 一ノ口スニヤ 22  
 駐 耗 理 22  
 舍 官 長 外 42  
 舍 官 車 主 外 主 22  
 舍 官 員 類 02  
 舍 官 補 姓 人 國 代 12  
 室 監 林 蘇 22  
 妻 難 22  
 小 一 〇 02  
 門 亦 宗 12  
 一ノ口耗 類 22

籍 堂  
 堂 燦  
 堂 燦 學  
 門 外  
 室 燦 學  
 室 燦 器  
 室 外 小 及  
 舍 官 類  
 室 倉 類  
 室 置 燦 鼓  
 室 燦





283  
31

